

見事、渡河せよ！ ～忍法水蜘蛛の術～

〈ねらい〉

1. ルールを守り課題を達成することを通して、仲間との協力を学ぶ。
2. 何度も繰り返すことによって、PDCA を学ぶ。

〈準備物〉

1. A4 用紙 人数-2 (枚)
2. ロープ (ひも) 2本
3. ふりかえりシート・・・ 1人1枚

〈時間配分〉

- | | | |
|------------|-----|-----|
| 1. 準備・説明・班 | ・・・ | 10分 |
| 2. 実施 | ・・・ | 30分 |
| 3. ふりかえり | ・・・ | 5分 |
| 4. まとめ | ・・・ | 5分 |

〈進め方〉

1. 説明・班・準備

① 説明 (忍者集団が川を渡る設定)

- ・ 1チーム6～10名
- ・ 2本のロープの間(6mほど)を全員が渡ることができれば勝利(川のイメージ)
- ・ 「水蜘蛛」に見立てたA4用紙を「メンバー数-2枚」用意
- ・ 片方の川岸(ロープ)に全員集合
- ・ 「水蜘蛛」はチームに渡します。(誰が持ってもよい)
- ・ 「水蜘蛛」は足場にできますが、常に体の一部が触れていなければならず、「水蜘蛛」から体が離れた瞬間に「水蜘蛛」は川に流される

※ 例えば、「水蜘蛛」を川に投げ入れたら、その瞬間に「水蜘蛛」は川に流されたことになる

- ・ 敵忍者は体から離れた「水蜘蛛」を素早く回収する
- ・ 流された「水蜘蛛」は使うことができない
- ・ 「水蜘蛛」から落ちたり、片足が川に触れた忍者も川に流される
- ・ 川に流された忍者は何かトレーニングを行うことで戻ることができる

(腹筋5回、腕立て10回など書かれたカードをひく)

〈注意すべきこと〉

- ・ 「水蜘蛛」を川に投げ入れると、一瞬で流れていく
- ・ 片足が岸についた瞬間に、「水蜘蛛」を降りる(この瞬間、「水蜘蛛」に誰も触れていない)
- ・ 次の「水蜘蛛」に移ろうとした瞬間

2. 実施(30分)

1回で成功したら、2回目は条件を追加して行うとよい。

3. ふりかえり

静かに振り返り用紙に記入する

4. まとめ

狙いに沿ってまとめる

「見事、渡河せよ！」を終えて

年 組 番 名前

1. 水蜘蛛の術は成功しましたか？

成功・失敗の考えられる理由も書いてください

はい ・ いいえ



理由：

--

2. 「見事、渡河せよ！」をやって、見えた自分の性格は？

--

3. 「見事、渡河せよ！」をやってみて見えたメンバーの良いところは？

--

4. 感想 仲間と一緒に作戦を練ったり、「見事、渡河せよ！」をやってみてどうでしたか？
(大切だと思ったこと・気がついたこと・今後の学校生活に生かしたいことなど)


